



小国中だより

小国町立小国中学校
令和3年 3月12日
文責 八木幸夫

卒業証書の重み

卒業証書授与式は感謝と決意の式

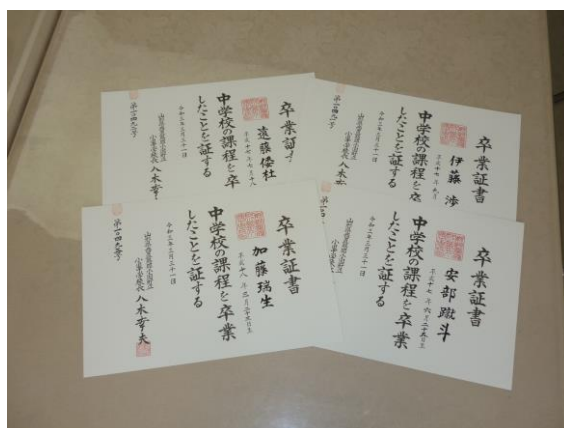
3月16日、小国中学校は卒業証書授与式を迎えます。50名の若き小国人を送り出します。公立高校の一般入試も終了し、証書授与等、式典のリハーサルも始まりました。

卒業証書は1枚の紙切れかもしれませんが。しかし、この紙切れには我が子を時には厳しく、時にはあたたかく支えてきた父、母、家族の思いが込められています。また、様々な場面で小国中生を支援して下さる町当局、地域の皆さんのあたたかな思いと熱い期待が込められています。苦楽をともにしてきた先生方の熱い思いが込められて

います。1枚の卒業証書に込められた多くの方々の思いを受け取り、感謝し、新たな進路への決意を新たにすることが卒業証書授与式です。

卒業証書を受け取る3年生の姿に、我が子の成長を実感し、涙する保護者の方は少なくありません。子供と共に歩んだ3年間を振り返ったとき、様々な感情があふれ出てくるのだと思います。卒業生合唱を聞き、涙する教師もまた少なくありません。友とともに涙をこらえながら歌う教え子の姿に、喜びとも悲しみともつかない複雑な感情が押し寄せてきて涙が止まらなくなるのです。そして、卒業生の堂々とした、そしてさわやかな姿に、これまでの多くの苦勞が報われた満足感を感じることができるのです。

3年生には、元気な返事、さわやかな「ありがとうございます。」、思いを込めた合唱で、自分を、自分たちを支え続けた多くの人に感謝の思いを伝えて欲しい。そして、重い重い卒業証書を手。来る4月からの高校生活に新たな決意と覚悟を持って臨んで欲しいと思います。



卒業証書授与式にあたって

- 今年度卒業生は50名、卒業生番号10490号～10539号となります。
- 式典は卒業生、卒業生保護者（各家庭2名まで）、本校職員、1、2年生代表で行います。新型コロナ感染防止の観点から、ご来賓のご臨席をご遠慮いただくこととしました。本来であれば多くの皆様に見守っていただくべきところですが、ご理解をいただくようお願いいたします。
- 校内の装飾等についても、簡素化を図っています。ご理解いただきますようお願いいたします。
- 卒業証書生徒氏名は、渡部 仁さん（伊佐領）に堂々とした立派な字で書いていただきました。

自分の進路を見据え決意する式

2年生 立志式

3月10日（水）、2年生が、保護者の皆さんに見守っていただきながら、自分の決意を発表し、進路への意識を高める立志式を行いました。3年生への進級を前に、進路決定に向かう決意や自分の生き方に対する決意等を、色紙にしたがった言葉に託しながら、一人ひとりが発表しました。発表後には、保護者を代表して五十嵐朋宏 PTA 2 学年部会長から激励の言葉が贈られ、良い緊張感の中で進路に向かう意識を高めることができた式となりました。



3月10日は公立高等学校の一般入選が行われており、進路に向かう節目として進路説明会も合わせて行いました。私立高校の中には、10月中に受験日を設定している学校もあり、私立高校の推薦入試、公立高校の推薦、連携入試まで、すでに1年を切っています。進路決定に向けて、仲間と切磋琢磨し、支え合いながら力を蓄え、成長していったほしいものです。

2年1組

立志の思いを込めた文字

磯部 昂 「前進」	安部 茜 「思いやり」
伊藤琥次郎 「琥珀」	五十嵐蘭優 「持続」
大友勇人 「研磨」	五十嵐琉星 「幸」
小野晴矢 「明」	伊藤杏樹 「挑」
小畑聡洵 「学」	大津佳純 「明星」
加藤諒真 「邁進」	岡 結生 「一心」
小池 聖 「努力」	佐藤美優 「今」
今 龍汰朗 「鍛錬」	新澤愛那 「笑顔」
繁村 知 「懸命」	杉山由菜 「恩」
塚原蒼月 「丹念」	高橋玲寧 「努力」
塚原陽向 「克服」	仁科美桜 「努力」
深浦大芽 「進化」	舟山琴音 「貫」
渡部優也 「挑戦」	三須万里奈 「優」
保科武志 「進」	山北芽生 「芽」
新野 忍 「忍」	渡部綾女 「成長」

2年2組

立志の思いを込めた文字

青木昊埜 「周」	阿久津七香 「努力」
飯田晴基 「公明正大」	穴沢咲良 「個性」
伊藤智大 「七転八起」	伊藤紫乃 「実践」
井上勇太 「勇む」	菊竹柚羽 「挑戦」
片桐希優 「百連自得」	今 聖那 「継続」
加藤翔太郎 「叶」	今ちひろ 「個性」
小林嘉暢 「感謝」	今 柚奈 「百」
佐藤 弾 「努力」	櫻井優菜 「理解」
高橋海斗 「諦めない」	佐藤 鈴 「万里一空」
馬場 巧 「判断」	佐藤ミリア 「糸」
廣瀬泰斗 「慎重」	佐藤 有 「精励」
二馬良太 「備」	藤田稟椋 「太陽」
宮地祥成 「越」	和田咲愛 「挑戦」
伊藤碧威 「努力」	渡部優杏 「今」
室岡貴翔 「衡」	佐藤繁明 「誠」

いつも元気の良いあいさつや返事ができる2年生が、いつになく返事ができなかつたりして…、緊張している様子が伝わってきました。この緊張感と決意を忘れることなく、目標に向かって努力して欲しいと思います。「初心忘るべからず。」 気持ち揺らいだり、心が折れそうになった時は、深呼吸と背伸びをして「三日坊主でも良い。4日目から又始めよう。」 校長の心に刻む文字は「感謝」です。